

令和4年1月24日

国際金融機能誘致に対する地場企業関係者や市民の理解を深め、取組みをさらに加速することを目的に、「国際金融機能の誘致に向けたフォーラム」を開催しました。

キーノートスピーチでは、岡澤恭弥福岡市国際金融アンバサダーが『ファンドとは社会課題を解決するツールである』とのテーマで講演。

これに続くトップリーダーズセッションでは、倉富純男九州経済連合会会長、池辺和弘九州電力代表取締役、高島宗一郎福岡市長に岡澤氏が加わり、石丸修平福岡地域戦略推進協議会(FDC)事務局長がモデレーターを務め、「福岡が目指す国際金融都市」について議論しました。

その後、事例紹介として、(株)Nayuta、ワイズグローバルビジョン(株)の代表者様より「海外の資産運用業者から投資を受けるメリット」について講演いただきました。また、シンガポールのCapBridge Financial Pte.Ltd.、M-DAQ Pte.Ltd.の代表者様より、「福岡を進出先(進出候補)として選んだ理由」について紹介いただきました。

最後に、ネットワーキングも開催し、イベント参加者と直接交流する機会としました。

(トップリーダーズセッション)



(事例紹介：CapBridge Financial Pte.Ltd.)

